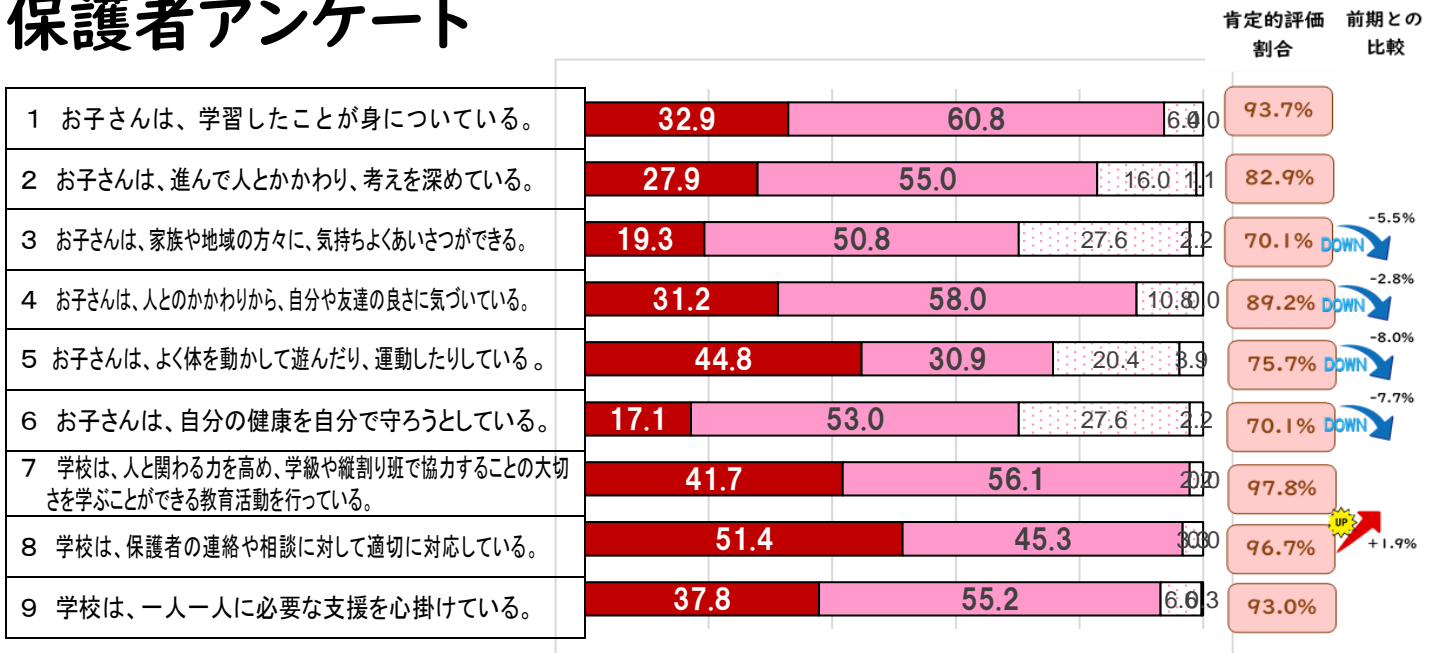


新潟市立結小学校
令和8年2月10日号

後期学校評価の結果

12月に行った後期学校評価アンケートでは、たくさんの皆様からご協力いただきました。安心感のある学校生活、タブレット端末の使い方などについて貴重なご意見をいただきました。今回の学校だよりでは、アンケート結果をお示しし、その結果を受けて校内の各部会で話し合った、ご意見に対する回答や今後への方策をお伝えします。

保護者アンケート



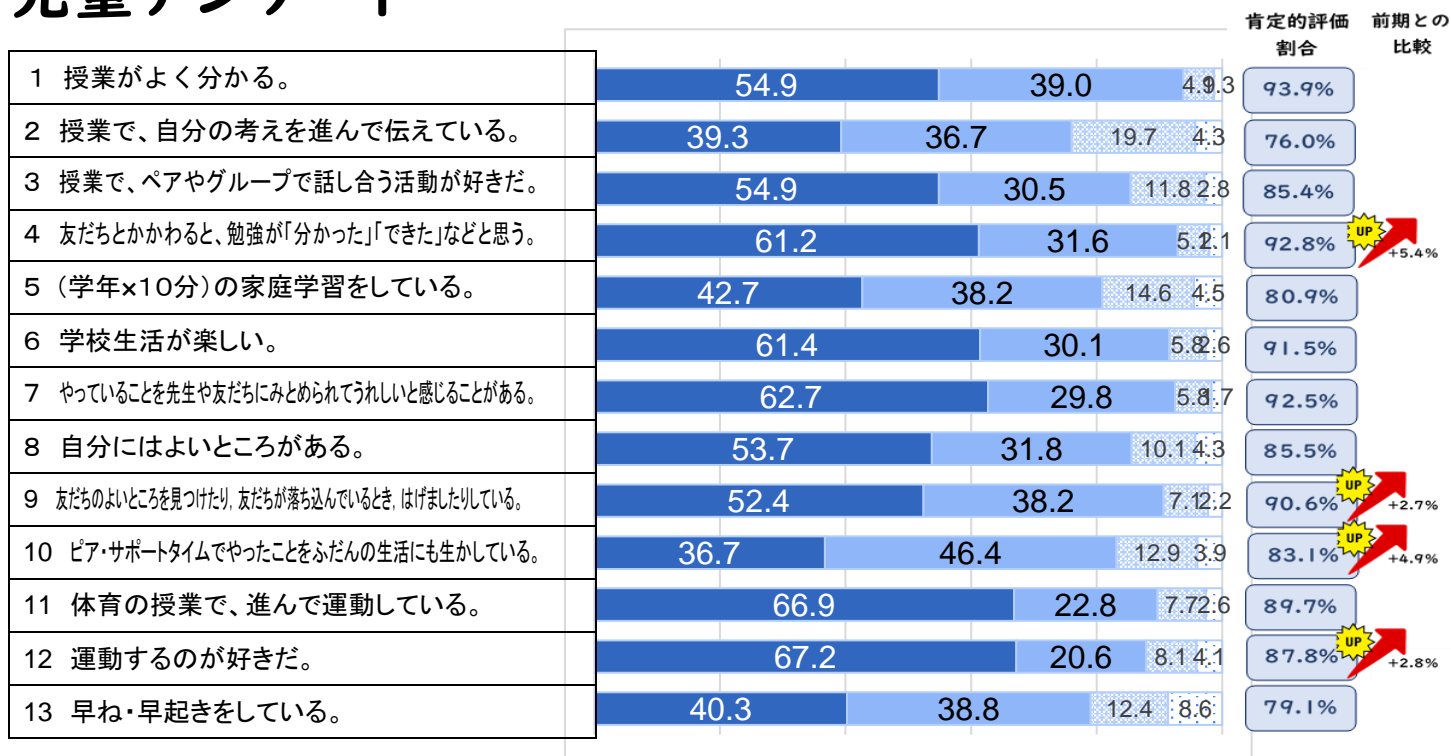
<安心感のある学校生活に向けた指導について>

安心感のある学校生活に向けて、全校体制での指導をより一層充実させてほしいというご意見をいただきました。現在、管理職・級外職員・学年職員による学年・学級サポート体制づくりを行っています。また、全校朝会において、ズボン下ろしや相手が嫌がることをしてはいけないことについて指導しました。全校朝会后は、いじめ防止の授業と関連させて各学年・学級で継続的に意識付けを図っています。ご家庭でのお子様の様子が気掛かりな場合は、ご連絡いただきたいと思います。児童アンケートでは、前後期を通じて、「学校生活が楽しい」と感じている児童が90%を超えています。今後も、さらなる向上を目指し、安心感のある学校生活に向けた取組を全職員で継続していきます。

<タブレット端末の使用について>

タブレット端末の家庭での使い方について、改めて指導をしてほしいというご指摘がありました。1月のセカンド端末の利用開始に当たり、「結小ガイドブック 結小 iPad 宣言」を作成・配付し、学校や家庭での使い方について、改めて指導・確認する機会を設けました。現在、スクリーンタイムの設定も順次行っています。各家庭のルールの例として「保護者がいない時間は使用しない」「家庭での使用時間は1時間以内にする」等の家庭でのルールの例を記載しています。是非、ご活用いただきたいと思います。これまで同様、毎日持ち帰ります。充電のご協力をお願いいたします。

児童アンケート



確かな学力

「友だちとかかわることで、勉強がよりわかるようになる」を目標として、校内研修や一人一実践による研究授業を行いました。全職員が、意識的にかかわる活動を日常的に取り入れことで、子どもも「かかわると学習が分かる」と実感しています。高学年のピアサポートタイムで行った、かかわり方のスキルの実践が効果的であったため、今後も継続して取り組んでいきます。

項目	目標	前期	後期
友だちとかかわることで、勉強がよりわかるようになる。	90%	87.5	92.9

豊かな心

「自分によいところがある」「友達が助けてくれる」「安心して人とかわることが出来る」を目標として、ピアサポート活動や縦割り班の活動に取り組みました。各活動で、意識して「グッジョブカード」のやりとりなどを取り入れたこともあり、自分に自信をもてたり、友達と一緒に生活する学校生活に安心感を感じています。

項目	目標	前期	後期
自分によいところがある。	92%	84.7	85.6
友達が助けてくれる。	70%	69.3	76
安心して人とかわることが出来る。	70%	69.6	71

健やかな体

「進んで運動している」「運動することが好きだ」を目標として、体育の授業で動く時間を確保したり、縄跳びや鉄棒を休み時間でもできる環境づくりをしたりしました。多くの子どもが鉄棒や縄跳びを楽しみながら、体を動かしていました。また、「早寝・早起きをしている」を目標に、生活チャレンジ週間に取り組みました。

項目	目標	前期	後期
進んで運動している。	90%	88.1	89.7
運動することが好きだ。	90%	85	87.8
早寝・早起きをしている。	80%	77.7	79

特別支援教育の充実

全ての教室でユニバーサルデザインの視点に立った教室環境の整備を行っています。子どもの視野に入る場所の掲示物を最小限にして集中できる環境にしたり、1日の見通しを示して安心して学校生活を送れるようにしたりしています。また、個別の支援計画を作成し、その子に応じた授業や支援を行っています。

項目	目標	前期	後期
授業がよく分かる	90%	93.6	93.8